

平成25年3月19日
にしおわりエフエム番組審議会事務局

にしおわりエフエム第1回番組審議会 議事録

1. 開催日時

平成25年3月19日（火）14時00分から16時00分

2. 開催場所

西尾張シーエーティーヴィ株式会社 1階会議室

3. 出席者 ※敬称略

(委員) 小川英範、加藤俊男、川原史子、鈴木尚英、東嶋とも子、山口精宏、山本章人、早川忠孝(代理出席)伊藤幸丈 以上8名

青木 啓(代表取締役社長)、植田徹治(放送技術センター長)、川口 傑(コミュニティFM開設準備室長)

4. 議事内容

(1) 審議委員の選任

(2) 事業進捗報告

以上事務局

(3) 委員長の選出

(4) にしおわりエフエム放送番組審議会規定について

(5) 放送番組の編集に関する基本計画について

(6) 4月～6月の番組編成について

各項目の質疑、協議事項

(1) 審議委員8名を任期1年での選任をあらためて確認し、8名全員が了承した。

(2) 事業進捗報告にて、蟹江町を中心とする放送区域、送信・演奏所設備など施設整備概況他を説明。

(3) 事務局からの報告を終え、決議事項の審議に入る前に委員長を選出した。

委員からのご意見、推薦を募る

加藤委員/今後ケーブルテレビコンテンツとの融合の必要性も考慮し、ケーブルテレビの番組審議会委員長経験もある鈴木委員を初代のにしおわりエフエム番組審議会委員長に推薦したい。

他委員／異議なしにて、鈴木委員を委員長に選出した。

(4) にしおわりエフエム放送番組審議会規定について事務局より説明

設置・目的・組織・会議の成立・諮問事項・意見具申・必要措置・放送内容の保存・事務局・その他の各項目について全委員が確認のうえ承諾し、あらためて規定に基づき委員の任期及び会議の成立を確認した。

加藤委員／規定に直接関係のない事項ではあるが、放送局名称のにしおわりエフエムとした理由を聞かせて欲しい。

事務局／放送局の名称はその地域及び事業主体を表すものとしており、弊社の西尾張シーエーティーヴィの名称及び放送区域を示す西尾張地区からにしおわりエフエムとした。

(5) 放送番組の編集の基準及び放送番組の編集に関する基本計画について事務局より説明

小川委員／基本計画に災害放送に関する基準が盛りこまれていない。防災災害に関する放送への期待感が強いと思われるため盛り込むべきではないか？

事務局／災害放送については、別途実施要綱が定めており、また関係7自治体とも放送開始後災害放送協定を締結予定で現在自治体担当者との協議を実施している。

東嶋委員／災害放送については自治体からの情報収集が重要になるため、協議をしっかりと行なって欲しい。

山本委員／自治体としても災害放送はコミュニティFMに最も期待するところであり情報発信を含め、しっかりと協定を結べるよう対応する。

委員長／放送番組の編集の基準及び放送番組の編集に関する基本計画について事務局からの説明の内容で問題がなければ、本内容で決定としたい。

全委員／意義なしにて決議。

(6) 4月～6月の番組編成について事務局より説明

番組編成の説明に合わせ公募にて決定した愛称「エフエムななみ」について、周波数77.3MHzをより多くの人に憶えてもらうことに合わせ、放送地域となる海部地区7自治体から7つの海(部)から「ななみ」の愛称としたことを報告。

加藤委員／朝の通勤時間帯などの情報発信が重要になると思う。放送開始は30分の生放送の予定だが今後の方針はどうか？

事務局／当初朝7時からの2時間の生放送番組も検討したが、各所との協議にて開局当初は、現在の編成での開始させていただきたい。以降聴取者からの意見なども参考に順次朝の生放送枠の拡張も検討していく。

加藤委員／いずれにしても鮮度の高い情報収集が肝心となる。関係自治体はもちろんだが地域の各種団体からの情報収集の方法についても検討し、地域の情報発信に努めて欲しい。

事務局／ご指摘の通り各所からの情報収集に努め地域色を明確に出す放送に努めるため、委員の皆さまにも情報の提供を切に願います。

小川委員／防災関連の番組はないのか？

事務局／平常時の啓蒙情報は生放送枠での自治体情報のコーナーに含まれる。

他にも警察・消防署からの情報も発信していく予定。

また災害放送については、平常期、警戒期、発災期、復旧復興期に分けて放送を実施する予定で、警戒期から発災期にかけて、通常放送から緊急災害放送へ放送を切り替えることとなる。

東嶋委員／災害時の情報収集の為に通信網確保も自治体とよく協議して欲しい。

事務局／自治体防災担当者と協議実施しており、有事に情報が絶えないような体制を確保していくこととなる。

小川委員／災害発生時も放送を継続できる施設となっているのか？

事務局／施設概要にて説明させていただいたとおり、送信所設備及び当社からの光回線も2重化されており、また主演奏所の中部電力蟹江電力所と送信所が一体となっていることから同施設が倒壊しなければ、放送は継続できる。また将来的には移動放送車輛からの放送が可能となるよう施設整備を検討していく。

小川委員／子ども達にスポットがあたる放送番組がもっとあると良いと思う。

過去に他放送局の番組で学校給食の献立を伝えるような番組を見聞きしたことがある。

事務局／現在同様の番組について自治体教育委員会と交渉中であり近い将来番組化していきたい。

川原委員／同様の番組が定着すればご家庭で子育て中の母親達にも興味深い番組なると思うので是非実現して欲しい。給食の献立は紙ベースで学校から提供されるがしっかり見ていないことも多いので、ながらで聞けるラジオから情報が流れれば非常に良いと思う。

加藤委員／カルチャー情報的番組枠については、各自治体を通じて文化協会の加盟団体へアプローチしてより地域の団体の方に番組に対して協力してもらえようアプローチしてみてはどうか？蟹江町だけでも文化協会の加盟団体は45団体存在する。

事務局／放送への参加者は特定することなく今後広く募っていく。早速各文化協会へのアプローチを実施する。

東嶋委員／いずれにしてもラジオの放送は「ながら」で聴けることが最大のメリットであり、聴覚情報は視覚情報よりも記憶に残りやすい。より多くの地域の有益な情報を発信できるよう今後も番組編成を考えて欲しい。

事務局／その様に努めますので委員の皆さまも是非今後ともご協力願います。

委員長／議論が尽きませんが、4月～6月の番組編成について事務局からの説明の内容で問題がなければ、今後もより地域の特色を活かした地域の住民が参加する番組を放送していただき、今後も当会で放送番組改善向上を図っていくということで、本内容で決定としたいと思うがいかがか？

全委員／異議なしにて決議。

次回開催を平成25年5月22日15時からの予定として閉会。

以上

文責：コミュニティFM開設準備室 川口 傑